

製品名: 前方勾配2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86966

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1.9mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:20 kDa; Observed MW:18 kDa

抗原情報

遺伝子名	Anterior Gradient 2
別名	AG2; AG-2; HPC8; GOB-4; HAG-2; XAG-2; PDIA17; HEL-S-116
遺伝子ID	10551
SwissProt ID	O95994
免疫原	ヒト前方勾配2の組み換えタンパク質

背景

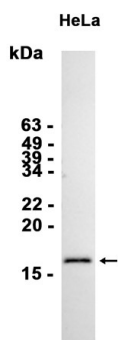
この遺伝子は、タンパク質のフォールディングとチオール-ジスルフィド交換反応を触媒する小胞体（ER）タンパク質のジスルフィド

イソメラーゼ (PDI) ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、N末端にERシグナル配列、触媒活性チオレドキシンドメイン、およびC末端にER保持配列を有しています。このタンパク質は、細胞遊走、細胞形質転換、転移に関与し、p53阻害薬としても作用します。また、ER局在性分子シャペロンとして、システインリッチ膜貫通受容体およびシステインリッチ腸管糖タンパク質ムチンのフォールディング、輸送、および集合に関与しています。この遺伝子は、炎症性腸疾患および癌の進行に関与していることが示唆されています。[RefSeq 提供、2017年3月]

研究分野

-

画像データ



前方勾配 2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。